

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業421社を対象に実施し、226社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成23年4月～6月の実績、平成23年7月～9月の見込み、平成23年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成23年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	198	105	53.0%
非 製 造 業	223	121	54.3%
計	421	226	53.7%

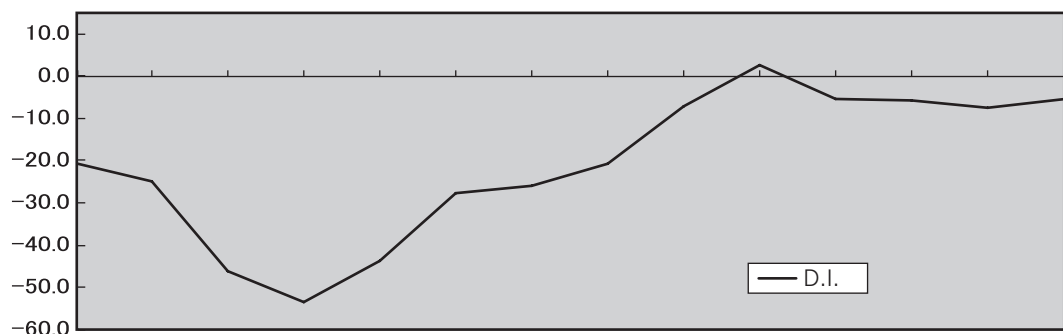
日銀が8月10日に公表した、北陸の金融経済月報(2011年8月)によると、「北陸の景気は、一部に厳しさもみられるが、全体としては持ち直しの動きが続いている。最終需要をみると、個人消費は消費マインドが幾分改善するもとで、全体としては震災前の状況に復している。輸出は新興国経済が高めの成長を続けていることなどを背景に好調を維持している。設備投資は緩やかに持ち直している。住宅投資は下げ止まっている。公共投資は減少している。

先行きについては、震災の影響により一部で下押し圧力が残るものの、海外経済の成長を背景とした輸出の増加などから、緩やかな回復経路に復していくとみられる。ただし、海外経済については、不確実性が高く、為替・金融資本市場の変動が与える影響にも注意を要する情勢となっている。」としている。

## I. 企業概況

企業概況の推移…… (全産業)

期別	20 年		21 年				22 年				23 年				見込	予測
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良 い	8.4	9.4	4.4	3.4	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	13.2	10.5		
普 通	62.2	56.3	44.7	39.8	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	65.9	73.5		
悪 い	29.4	34.4	50.9	56.8	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	20.9	16.0		
D . I .	-21.0	-25.0	-46.5	-53.4	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-7.7	-5.5		

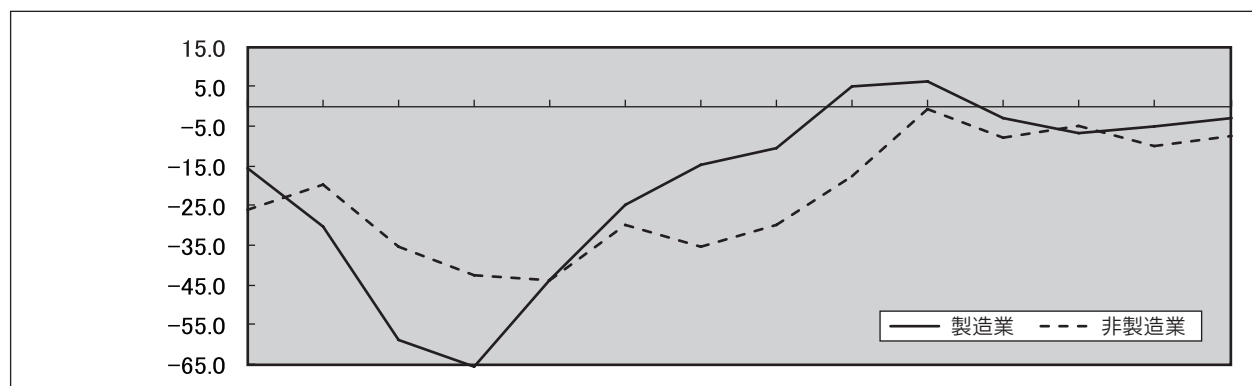


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		20 年		21 年				22 年				23 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	10.2	8.4	2.6	0.7	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	13.9	10.0		
普	通	64.1	52.6	35.5	33.1	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	67.3	77.0		
悪	い	25.7	39.0	61.9	66.2	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	18.8	13.0		
D . I .		-15.6	-30.5	-59.4	-65.6	-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-5.0	-3.0		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		20 年		21 年				22 年				23 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	6.7	10.2	6.0	5.8	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	12.6	10.9		
普	通	60.6	59.6	52.5	45.7	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	64.7	70.6		
悪	い	32.8	30.1	41.5	48.6	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.7	18.5		
D . I .		-26.1	-19.9	-35.5	-42.8	-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-10.1	-7.6		



- こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の23年4～6月期実績は▲5.8と前期比0.3ポイント悪化した。先行きについて、23年7～9月期のD.I.は▲7.7、10～12月期予想は▲5.5と悪化予想となっている。東日本大震災の影響により、業況は悪化となっていると予想される。
- 業況判断指数D.I.の23年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より4.0ポイント悪化、非製造業は前期より2.8ポイント改善となった。先行きについては、製造業は改善予想であるが、非製造業は悪化予想となっている。

## II. 売上高状況

売上高状況

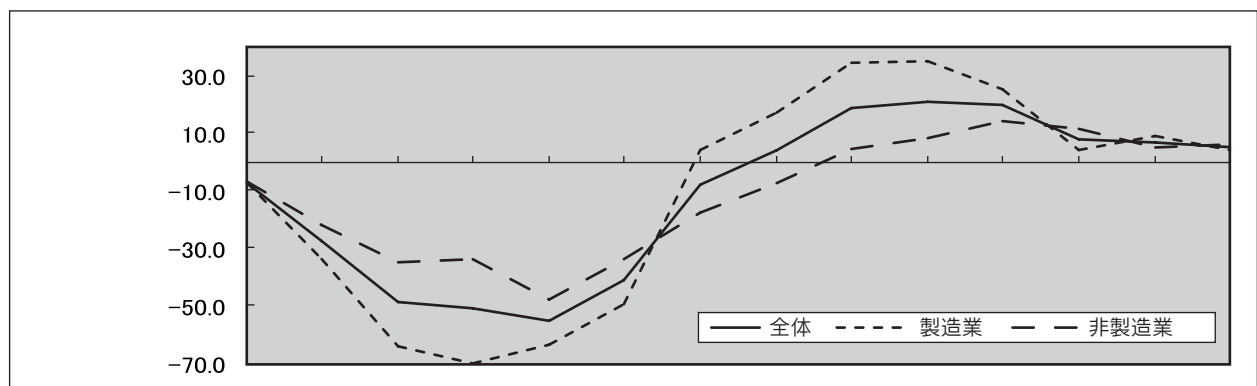
種別 \ 期別		20 年												21 年		22 年		23 年		(%)	見込	予測
		7~		10~		1~		4~		7~		10~		1~		4~		7~		10~		
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月			
増	加	26.0	18.5	11.8	12.7	10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	29.3	21.9							
横	ばい	40.9	35.4	28.0	24.1	24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	48.0	61.2							
減	少	33.1	46.1	60.2	63.2	65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	22.7	17.0							
D . I .		-7.1	-27.6	-48.4	-50.5	-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	6.7	4.9							

売上高状況 (うち製造業のみ)

種別 \ 期別		20 年												21 年		22 年		23 年		(%)	見込	予測
		7~		10~		1~		4~		7~		10~		1~		4~		7~		10~		
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月			
増	加	28.6	17.1	7.8	7.4	7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	29.8	19.4							
横	ばい	35.7	32.2	20.6	15.4	20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	49.0	65.0							
減	少	35.7	50.7	71.6	77.2	71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	21.2	15.6							
D . I .		-7.1	-33.6	-63.9	-69.8	-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	8.7	3.9							

売上高状況 (うち非製造業のみ)

種別 \ 期別		20 年												21 年		22 年		23 年		(%)	見込	予測
		7~		10~		1~		4~		7~		10~		1~		4~		7~		10~		
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月			
増	加	23.6	19.8	15.2	17.2	11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	28.9	23.9							
横	ばい	45.6	38.3	34.2	31.6	28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	47.1	57.9							
減	少	30.8	41.9	50.5	51.1	59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	24.0	18.1							
D . I .		-7.1	-22.2	-35.3	-33.9	-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	5.0	5.8							



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は8.0となり、前期より11.5ポイント悪化となった。先行きについても、23年7~9月は6.7と前期より1.3ポイント悪化、23年10~12月は更に悪化予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比21.3ポイント悪化、非製造業は2.8ポイント悪化となり、製造業は大幅悪化となった。先行きについては、製造業はやや改善予想となっているが、非製造業は悪化予想となっている。

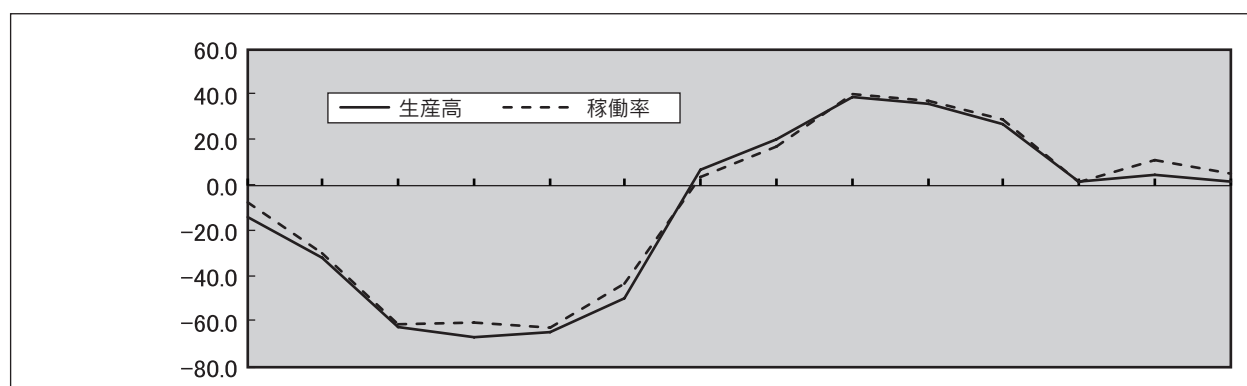
### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

期別 種別	（%）見込 予測													
	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
20%以上増加	1.8	1.9	1.3	0.7	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.0	6.0
20%未満増加	21.2	14.6	5.9	5.2	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.0	15.0
横ばい状況	39.4	34.8	22.9	21.6	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	50.0	65.0
20%未満減少	30.3	35.4	33.3	32.7	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	18.0	13.0
20%以上減少	7.3	13.3	36.6	39.9	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	5.0	4.0
D . I .	-14.5	-32.3	-62.7	-66.7	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	4.0	1.0

稼働率（製造業のみ）

期別 種別	（%）見込 予測													
	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
上 昇	2.6	1.9	0.7	0.7	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	7.1	3.0
やや上昇	19.9	13.5	5.4	6.6	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	23.2	19.0
横ばい	47.4	39.1	26.2	25.0	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.5	61.0
やや下降	24.4	30.1	30.2	22.4	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	11.1	12.0
下 降	5.8	15.4	37.6	45.4	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	8.1	5.0
D . I .	-7.7	-30.1	-61.7	-60.5	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	11.1	5.0



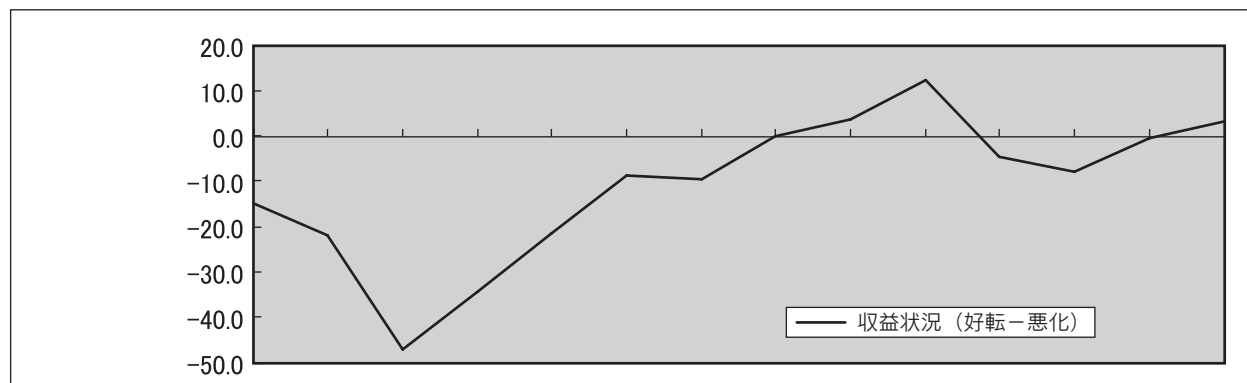
- 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.Iは、前期比25.5ポイント悪化となった。先行きについては、23年7～9月期は今期比やや改善予想であるが、10～12月期は今期と同じポイントとなり、悪化を予想している。
- 稼働率状況D.Iは、前期比27.7ポイント悪化し、D.Iは1.0となった。先行きについても、生産高同様に7～9月期はやや改善見込となっているが10～12月期は5.0と、再び悪化予想となっている。生産高、稼働率ともに先行き不安定な状況である。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好 転	12.7	12.7	5.6	11.1	13.5	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	17.4	17.2
横 ば い	59.5	52.8	41.9	43.5	51.4	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	64.7	68.8
悪 化	27.7	34.5	52.5	45.4	35.0	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	17.9	14.0
D . I .	-15.0	-21.7	-46.9	-34.3	-21.5	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	-0.4	3.2



好転理由

(%) 見込 予測

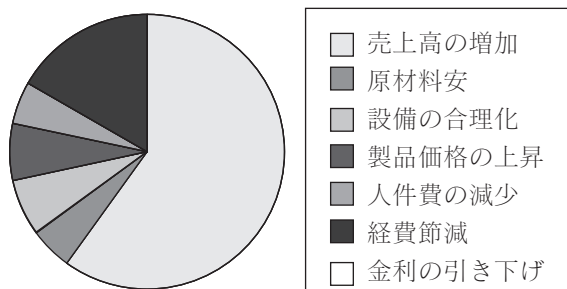
種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の増加	65.1	64.3	52.5	49.2	63.9	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	74.5	71.7
原 材 料 安	4.8	14.3	12.5	6.6	8.2	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	2.1	4.3
設備の合理化	0.0	1.8	5.0	6.6	1.6	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.1	2.2
製品価格の上昇	11.1	5.4	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	4.3	0.0
人件費の減少	3.2	1.8	12.5	18.0	11.5	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	2.1	4.3
経 費 節 減	12.7	12.5	17.5	6.4	14.8	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.9	17.4
金利の引き下げ	3.2	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

悪化理由

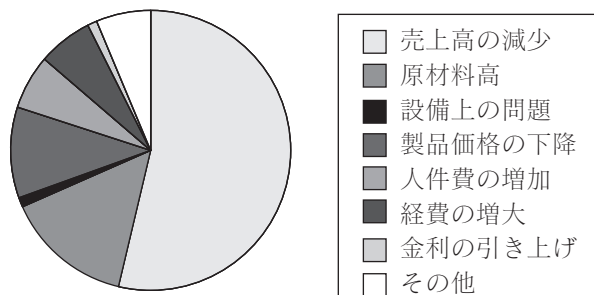
(%) 見込 予測

種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の減少	43.3	60.6	68.6	64.9	62.7	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	47.2	53.3
原 材 料 高	30.4	14.3	6.3	4.8	3.6	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	18.9	22.2
設備上の問題	1.8	0.0	0.8	1.0	1.2	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	3.8	2.2
製品価格の下降	8.2	11.4	12.5	18.3	16.6	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.4	6.7
経 費 の 増 大	9.4	6.9	5.1	5.3	7.7	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	7.5	6.7
人件費の増加	4.1	4.0	4.7	4.8	4.1	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	3.8	0.0
金利の引き上げ	0.6	0.0	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.9	0.0
そ の 他	2.3	2.9	1.6	0.5	3.6	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	7.5	8.9

好転理由



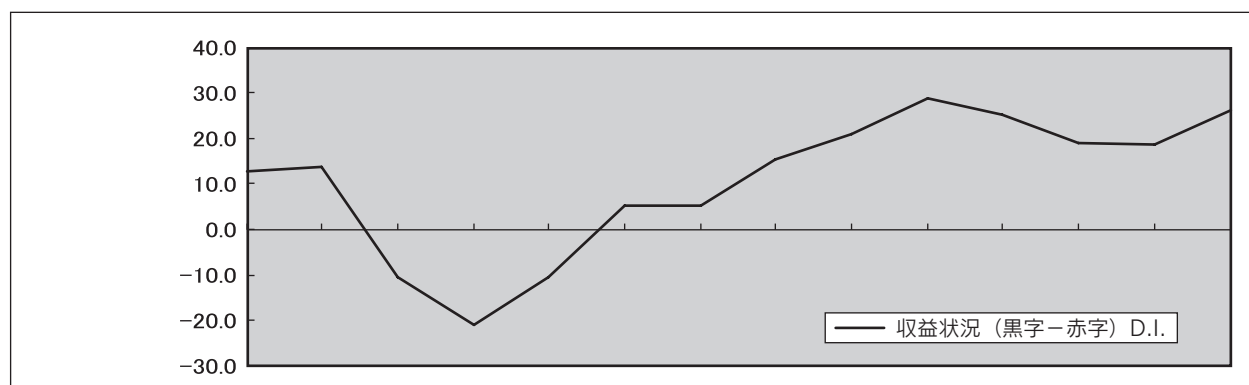
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比2.9ポイント悪化となった。先行きについては改善予想となっている。7～9月はD.I.▲0.4とマイナスポイントであるが、前期比7.3ポイント改善を予想している。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが高いものの前期比9.2ポイント低下している。原材料安、人件費減少を理由とするポイントが前期比増加となっている。先行きについても、「売上高の増加」「経費節減」を理由とするポイントが依然高い。
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」とするポイントが依然高いが、前期比原材料高、製品価格の下落を理由とするポイントが増加している。先行きについては、原材料高を理由とするポイントが増加している。製品価格の下落、人件費の増加とするポイントは低下している。

収益状況（黒字－償却後赤字）

期別 種別	(%)													
	20年		21年				22年				23年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	34.3	36.6	25.0	19.0	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	37.0	39.9
収支トントン	44.1	40.4	39.6	41.1	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	44.7	46.3
償却後赤字	21.6	23.0	35.4	39.9	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	18.3	13.8
D . I .	12.7	13.6	-10.4	-20.9	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	18.7	26.1



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、前期比6.5ポイント悪化し、18.8となった。償却後赤字となった企業が全体の22%と増加している。先行きについては、D.I.は改善予想となっているが、黒字予想の企業割合は、減少しており、依然収益状況は厳しい状況である。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

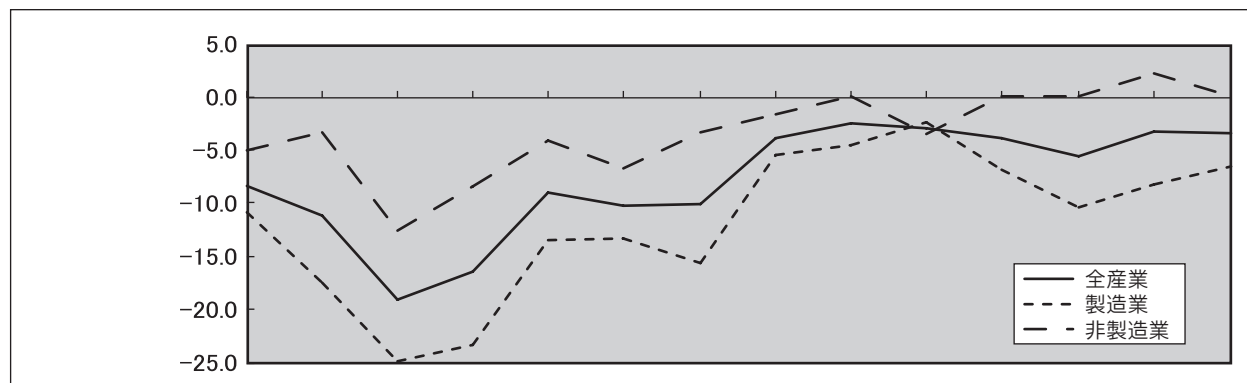
		(%) 見込 予測												
期別 種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	3.3	1.5	1.5	2.2	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	6.6	3.9
適正	85.1	86.0	78.0	79.2	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	83.5	88.8
過剰	11.6	12.5	20.5	18.6	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	9.9	7.3
D . I .	-8.3	-11.1	-19.0	-16.4	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.3	-3.4

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

		(%) 見込 予測												
期別 種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	2.6	1.4	0.7	2.1	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	5.2	2.2
適正	84.0	79.7	73.8	72.4	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	81.3	89.2
過剰	13.5	18.9	25.5	25.5	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	13.5	8.6
D . I .	-10.9	-17.6	-24.8	-23.4	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-8.3	-6.5

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

		(%) 見込 予測												
期別 種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
不足	4.2	1.6	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	8.1	5.8
適正	86.7	93.5	82.8	86.8	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	86.0	88.4
過剰	9.2	4.9	14.8	10.9	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	5.8	5.8
D . I .	-5.0	-3.3	-12.5	-8.5	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	2.3	0.0



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足－過剰」D.I.は、23年4～6月期は▲5.5となり、前期比1.7ポイントの悪化となり、過剰の状況である。先行きについては、改善予想となっているが、まだ過剰ポイントが高い状況となっている。
- (2) 業種別では、製造業が過剰とのポイントが高く、非製造業は適正との回答である。先行きについても、改善傾向にはあるが製造業は在庫過剰の予想となっている。非製造業では、7～9月期には在庫不足のポイントが高い予想となっている。

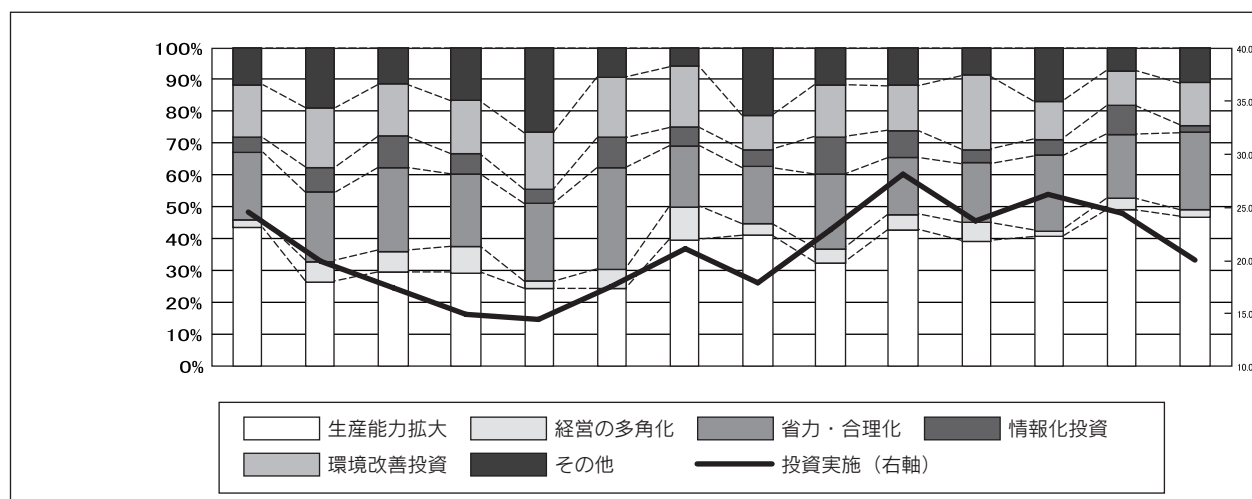
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)													
	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
投資実施	24.4	19.8	17.3	14.8	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	24.3	19.9
投資せず	75.6	80.2	82.7	85.2	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	75.7	80.1

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	43.5	26.6	29.5	29.2	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	49.1	46.7
経営の多角化	2.4	6.3	6.6	8.3	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	3.6	2.2
省力・合理化	21.2	21.9	26.2	22.9	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	20.0	24.4
情報化投資	4.7	7.8	9.8	6.3	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	9.1	2.2
環境改善投資	16.5	18.8	16.4	16.7	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	10.9	13.3
その他	11.8	18.8	11.5	16.7	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	7.3	11.1



- (1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の26.1%と、前期比2.5ポイント増加した。先行きについては、23年7～9月期は24.3%、10～12月期は19.9%と減少傾向となっている。目的別では、生産能力の拡大が依然高く、次に省力・合理化、環境改善投資となっている。先行きについても、今期と同じ目的のポイントが高い状況である。
- (2) 業種別では、ポイントが高い順に「出版印刷紙加工」「電子部品製造」「アルミ製品製造」の順となっている。目的別では、生産販売能力拡大、省力・合理化とするポイントが高い。また、環境改善を目的とするポイントも高くなっている。卸売業、百貨店スーパー小売業では、情報化投資を目的とするポイントもあがっている。

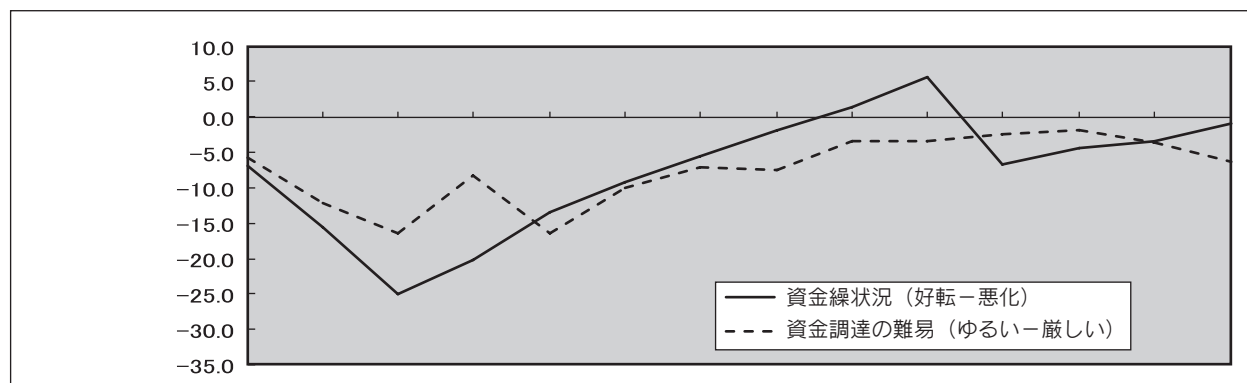


## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好 転	6.0	4.4	5.0	6.2	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.6	8.8
変 わ ら ず	81.0	75.5	65.0	67.3	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	75.2	81.4
悪 化	12.9	20.1	30.0	26.5	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	14.2	9.7
D . I .	-6.9	-15.7	-25.0	-20.4	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	-3.5	-0.9



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	20 年		21 年				22 年				23 年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
ゆ る い	7.5	5.9	4.4	5.9	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	11.8	10.6
厳 しく ない	79.3	75.9	74.9	79.9	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	72.9	72.5
厳 し い	13.2	18.1	20.7	14.2	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.4	17.0
D . I .	-5.7	-12.2	-16.3	-8.3	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-3.6	-6.4

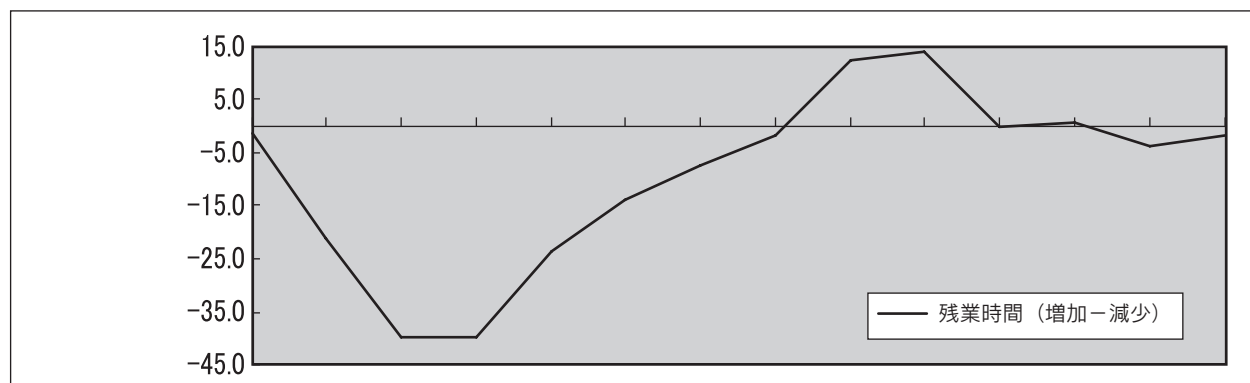
- 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、前期比2.4ポイント改善となった。資金繰り状況は、1～3月期より悪化となり、今期も、悪化ポイントが高いが前期比やや改善している。先行きについても、「悪化」のポイントが高いが改善予想となっている。
- 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、前期より0.6ポイント改善した。先行きについては、「厳しい」のポイントが高く、悪化予想となっている。製造業、非製造業別で製造業が1.0とゆるいとするポイントが高く、非製造業は▲4.2と厳しいとのポイントが高い結果となった。先行きについては、「厳しい」のポイントが高く、悪化予想となっているが、厳しいとの回答は、非製造業であり、製造業はゆるいとのポイントが高い予想である。

## VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	20年		21年				22年				23年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
増加	17.6	10.0	6.5	4.3	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	10.6	10.0
横ばい	63.4	58.5	47.4	51.6	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	75.0	78.1
減少	19.0	31.6	46.1	44.1	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.4	11.9
D.I.	-1.4	-21.6	-39.6	-39.8	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	-3.8	-1.9

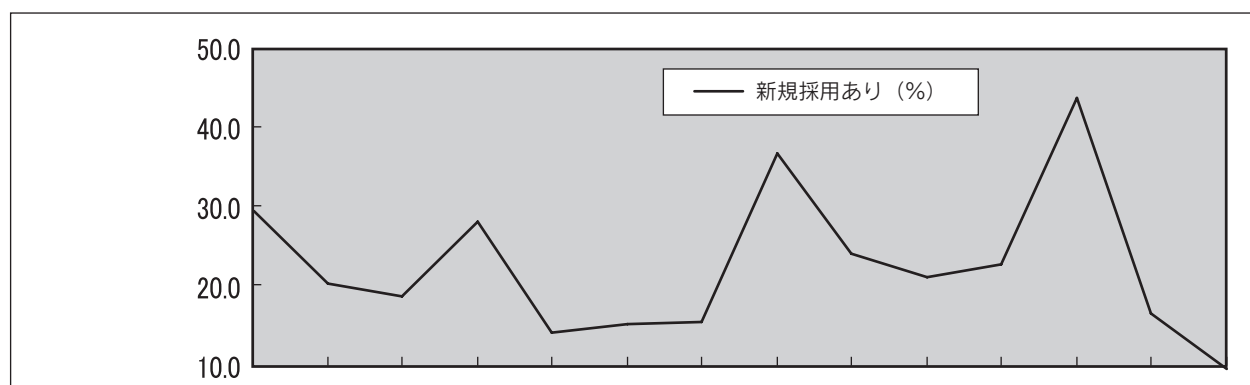


- (1) 残業時間D.I.は23年4~6月期0.5となり、前期比D.I.は0.9ポイント増加した。残業時間は前期比増加とした企業のポイントが高くなった。先行きについては、マイナスポイントであり、残業時間は減少予想となっている。残業時間が増加との回答が高かった業種は、窯業土石、機械工業、出版印刷紙加工業となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	20年		21年				22年				23年			
	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月
全産業	29.3	20.1	18.6	28.1	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	16.5	9.6
(うち製造業)	30.6	18.0	15.0	22.7	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	11.8	3.9
(うち非製造業)	28.1	22.0	21.5	32.8	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	20.7	14.5

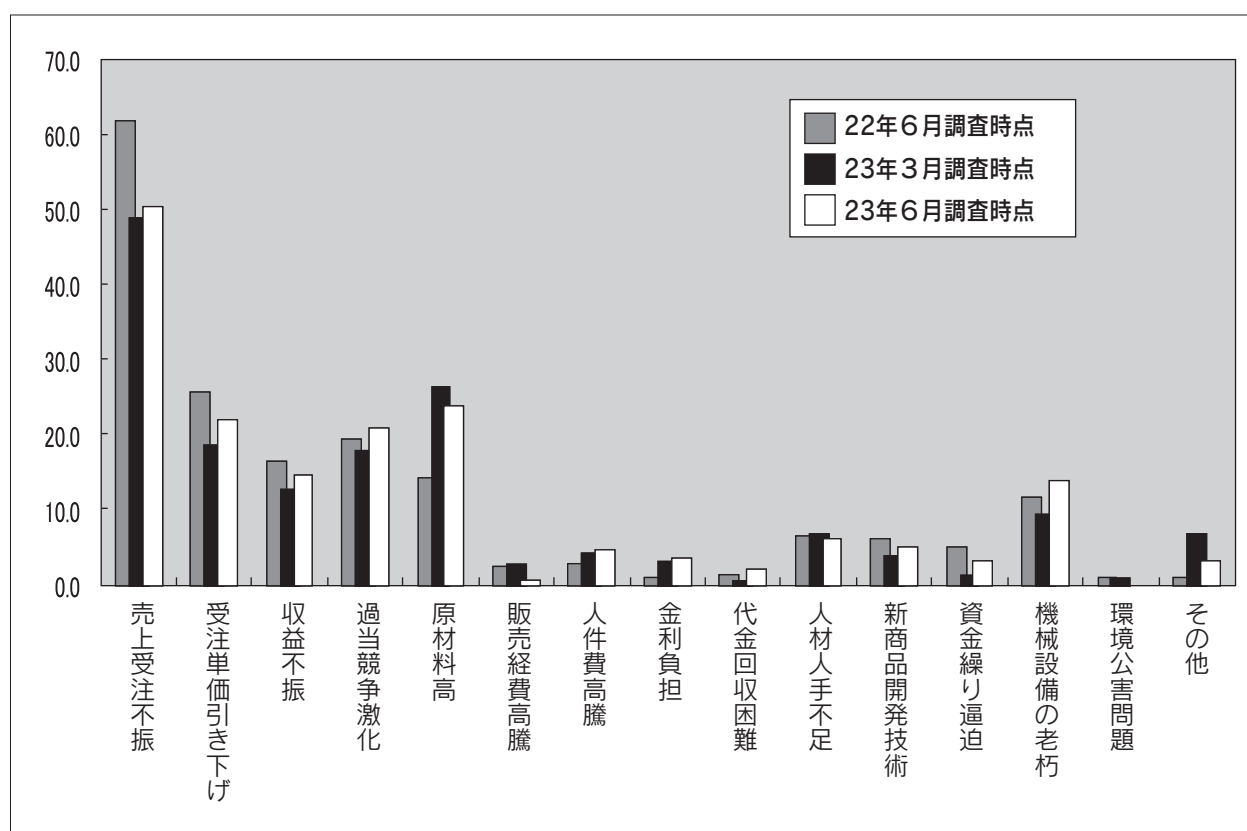


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の43.7%が新規採用を行っている。製造業では42.2%が採用を行っており、前年同期比7.7ポイント増加している。非製造業では45.0%が採用しており、前年同期比増加している。

## IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	22年6月 (前年)	23年3月 (前回)	23年6月 (今回)	23年6月		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	61.8	48.6	50.4	(57.1)	(44.6)	1.8
受注単価引き下げ	25.6	18.5	21.7	(24.8)	(19.0)	3.2
収益不振	16.4	12.7	14.6	(13.3)	(15.7)	1.9
過当競争激化	19.2	17.8	20.8	(14.3)	(26.4)	3.0
原材料高	14.2	26.4	23.5	(23.8)	(23.1)	-2.9
販売経費高騰	2.2	2.7	0.4	(1.0)	(0.0)	-2.3
人件費高騰	2.5	4.1	4.4	(4.8)	(4.1)	0.3
金利負担	0.9	3.1	3.5	(2.9)	(4.1)	0.4
代金回収困難	1.3	0.3	1.8	(0.0)	(3.3)	1.5
人材人手不足	6.3	6.8	5.8	(4.8)	(6.6)	-1.0
新商品開発技術	6.0	3.8	4.9	(7.6)	(2.5)	1.1
資金繰り逼迫	5.0	1.1	3.1	(2.9)	(3.3)	2.0
機械設備の老朽	11.4	9.2	13.7	(16.2)	(11.6)	4.5
環境公害問題	0.9	0.7	0.0	(0.0)	(0.0)	-0.7
その他	0.9	6.8	3.1	(3.8)	(2.5)	-3.7



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振50.4%(前期比+1.8ポイント)、②原材料高23.5(前期比▲2.9ポイント)、③受注単価引下げ21.7%(前期比+3.2ポイント)の順になっている。
- (2) 今回調査では、ほとんどの問題点のポイントが増加した。前年同期比較では、原材料高、過当競争激化、機械設備の老朽を理由とするポイントが増加している。
- (3) 原材料高を問題点として高いポイントの業種は、窯業土石、運送業、アルミ製品製造業となっている。

## X. 為替変動に対する影響

		見込			予測 (%)	
項	目	22年10~12月	23年1~3月	23年4~6月	23年7~9月	23年10~12月
売上高	好転	0.4	1.1	0.5	0.0	0.5
	悪化	6.9	4.0	5.0	4.5	4.5
	影響なし	92.7	94.9	94.5	95.5	95.0
仕入高	好転	3.6	0.7	1.5	2.0	2.0
	悪化	5.7	3.3	4.5	5.6	6.1
	影響なし	90.7	95.9	94.0	92.4	91.9
営業利益	好転	2.0	0.7	1.5	2.0	2.0
	悪化	7.3	5.5	7.1	6.6	7.6
	影響なし	90.6	93.8	91.4	91.4	90.4

- (1) 見込、予測については、前期比の予想について回答を求めた。今回200社からの回答があり、売上高については5.5%から影響があると回答があった。うち、5%の企業は売上高が悪化したとの回答であった。
- (2) 仕入高については、6.0%が影響ありと回答。うち4.5%が悪化したと回答であった。営業利益では、8.6%が影響があり、7.1%が悪化したと回答している。今回も影響があると回答のうち、好転したより悪化したとの回答が多かった。
- (3) 先行きについては、売上高は影響あるとする回答がやや低下しているが、仕入高営業利益では、影響ありとする回答が増加し、悪化とする回答が高いポイントととなっている。